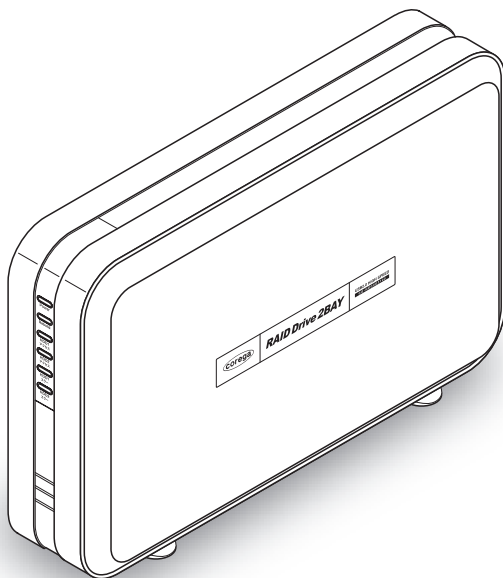




CG-HDC2U3100 取扱説明書



Contents

お使いになる前に
お読みください

1

設置と接続

2

本商品の設定方法

3

Q&A

Q&A

安全にお使いいただくためにお読みください

ここでは、使用者および他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、ご購入いただいた商品を安全に正しくお使いいただくための注意事項が記載されています。使用されている警告表示および絵記号の意味は次のようになっています。内容をよくご理解のうえ本文をお読みください。

警告表示の説明



警告

この表示を無視し、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視し、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。



警告



禁止

家庭用電源（AC100V）以外では絶対に使用しないでください。

異なる電圧で使用すると発煙、火災、感電、故障の原因となります。



強制指示

必ず付属の専用 AC アダプタ（または電源ケーブル）を使用してください。

本商品付属以外の AC アダプタ（または電源ケーブル）の使用は火災、感電、故障の原因となります。



禁止

電源ケーブルを傷つけたり、加工したりしないでください。

電源ケーブルに重いものをのせたり、加熱や無理な曲げ、ねじり、引っ張ったりすると電源ケーブルを破損し火災、感電の原因となります。また、電源ケーブル（または AC アダプタ）をコンセントから抜くときにケーブル部を持って抜かないでください。



禁止

本商品（AC アダプタ含む）は風通しの悪い場所に設置しないでください。

過熱し、火災や破損の原因となることがあります。



禁止

本商品（AC アダプタ含む）を分解や改造はしないでください。

感電、火災、けが、故障の原因となります。

⚠ 警告



プラグを抜く

本商品の通風孔などから液体や異物が内部に入ったら、AC コンセントからプラグを抜いてください。

そのまま使用を続けると、火災、感電の原因となります。



プラグを抜く

煙が出たり、異臭がしたら使用を中止し、AC コンセントからプラグを抜いてください。

そのまま使用を続けると、火災、感電の原因となります。



濡手禁止

濡れた手で本商品を扱わないでください。

電源が接続された状態で、本商品の操作や接続作業を行うと感電の原因となります。



禁 止

本商品は一般事務、家庭での使用を目的とした商品です。

本商品は、住宅設備・医療機器・原子力設備や機器・航空宇宙機器・輸送設備や機器などの人命に関わる設備や機器および極めて高い信頼性を要求される設備や機器としての使用、またはこれらに組み込んだ使用は意図されておりません。これらの設備や機器、制御システムなどに本商品は使用しないでください。本商品の故障により社会的な損害や二次的な被害が発生するおそれがあります。

⚠ 注意



禁 止

本商品を多段積みで使用したり、通風孔をふさいだりしないでください。

内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。



強制指示

本商品の前後左右、および上部には十分なスペースを確保してください。

換気が悪くなると内部温度が上昇し火災や故障の原因となります。また、商品に使用しているアルミ電解コンデンサは、高い温度状態で使用し続けると早期に寿命が尽きる場合があります。寿命が尽きた状態で使用し続けると、電解液の漏れや枯渇が生じ、異臭の発生や発煙、火災の原因となることがあります。

⚠ 注意



禁 止

本商品を次のような場所で使用や保管はしないでください。

- ・ 直射日光のあたる場所
- ・ 暖房器具の近くなどの高温になる場所
- ・ 急激な温度変化のある場所（結露するような場所）
- ・ 湿気の多い場所や水などの液体がかかる場所
- ・ 振動の激しい場所
- ・ ほこりの多い場所や、じゅうたん等の保温性、保湿性の高い場所
- ・ 腐食性ガスの発生する場所
- ・ 台所、浴室、洗面所などの水気や湿気が多い場所
- ・ ユニットバスや天井裏など高温・多湿で風通しの悪い場所
- ・ 壁の中などお手入れが不可能な場所
- ・ 強い磁気や電磁波が発生する装置が近くにある場所



強制指示

事故防止のため、お手入れ可能な場所に設置してください。

本商品（AC アダプタ含む）にほこりなどが付着していると発煙や火災の原因となる場合があります。ほこりなどが付着している場合は、電源を切った状態にしてから乾いた布でよく拭き取ってください。



禁 止

雷のときは本商品や接続されているケーブル類に触らないでください。

落雷による感電の原因となります。



プラグを抜く

本商品を落としたり、強い衝撃を与えないでください。

故障の原因となることがあります。

はじめに

このたびは、「CG-HDC2U3100」をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。

本書は、本商品を正しくご利用いただくための手引きです。必要なときにいつでもご覧いただけるように、大切に保管してください。また、本商品に関する最新情報（ソフトウェアのバージョンアップ情報など）は、コレガホームページでお知らせしておりますのでご覧ください。

<http://corega.jp/>

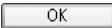
本書の読み方

本書で使用している記号や表記には、次のような意味があります。

■記号について

	操作中に気をつけていただきたい内容です。 必ずお読みください。		補足事項や参考となる情報を説明しています。
---	------------------------------------	---	-----------------------

■表記について

本商品	CG-HDC2U3100 のことです。
「 」	「 」で囲まれた項目を順番に選択することを示します。
[]	[] で囲んである文字は、画面上のボタンを表します。 例：  → [OK]
Windows Vista	Microsoft® Windows Vista® Home Basic、 Microsoft® Windows Vista® Home Premium、 Microsoft® Windows Vista® Business および Microsoft® Windows Vista® Ultimate
Windows XP	Microsoft® Windows® XP Home Edition operating system および Microsoft® Windows® XP Professional operating system
Windows 2000	Microsoft® Windows® 2000 Professional operating system

※本書では、複数の OS を「Windows Vista/XP/2000」のように併記する場合があります。

■イラスト／画面について

本文中に記載のイラストや画面は、実際と多少異なることがあります。

マニュアルの種類と使い方

本商品には次のマニュアルがあります。本商品をお使いになる際にはそれぞれのマニュアルをご覧ください。

○取扱説明書（本書）

安全にお使いいただくためのご注意、お使いの環境に合わせた本商品の設定方法、使用方法について説明しています。また、「Q&A」では代表的なトラブルとその対処方法を説明しています。

本書の構成

本書は本商品についての情報や、設置・接続・設定方法などについて説明しています。
本書の構成は次のとおりです。

■第 1 章 お使いになる前にお読みください

本商品の特長、各部の名称と働きなどについて説明します。

■第 2 章 設置と接続

本商品の設置方法と接続方法について説明します。

■第 3 章 本商品の設定方法

本商品で設定できる RAID について説明します。

■第 4 章 Q&A

トラブルの対処方法やよくある質問について説明します。

■付録

本商品の仕様、保証や修理のご案内などを記載しています。

付属品一覧

本商品をご使用になる前に、次のものが付属されていることをご確認ください。万が一、欠品・不良などがございましたら、お買い上げいただいた販売店までご連絡ください。

- | | |
|---|---|
| ☐ CG-HDC2U3100 本体 | ☐ AC アダプタ |
| ☐ AC ケーブル | ☐ USB ケーブル (1m) |
| ☐ ハードディスク固定用ネジ× 10 | ☐ ハードディスク固定用ドライバ |
| ☐ 取扱説明書 (本書) | ☐ 製品保証書 |

動作環境

本商品は、以下のハードウェア環境を持つパソコンで使用できます。

■対応パソコン

- ・ USB 端子を標準搭載している DOS/V パソコン
- ・ USB 端子を標準搭載している Macintosh

■対応 OS

- ・ Windows Vista/XP/2000
- ・ Mac OS X 10.3 以降



- ・ 自作パソコンや、本商品との接続に必要なポートを拡張ボードなどであとから増設したパソコンはサポート対象外です。
- ・ USB のホットプラグは、接続する機器のコントローラに準拠します。

目次

安全にお使いいただくためにお読みください	2
はじめに	5
本書の読み方	5
マニュアルの種類と使い方	6
本書の構成	7
付属品一覧	8
動作環境	8
目次	9
第 1 章	
お使いになる前にお読みください	11
1.1 本商品の特長	12
1.2 各部の名称と機能	13
第 2 章	
設置と接続	17
2.1 本商品を設置する	18
2.2 ハードディスクを取り付ける	19
2.3 本商品を接続する	29
2.4 接続の確認	30
2.4.1 Windows Vista をお使いの場合	31
2.4.2 Windows XP/2000 をお使いの場合	34
2.4.3 Macintosh をお使いの場合	37
2.5 USB ケーブルの取り外し方法	39
第 3 章	
本商品の設定方法	43
3.1 RAID スイッチを設定する	44
3.2 RAID とは	46

第4章

Q&A 51

4.1 トラブル対処の方法 52

4.2 Q&A 53

4.2.1 電源が入らない 53

4.2.2 本商品を認識しない 53

4.2.3 ハードディスクが認識しない 54

付録 55

PC 連動電源機能について 56

冷却ファンコントロール機能について 57

仕様一覧 58

保証と修理について 60

おことわり 62

第 1 章

お使いになる前にお読みください

この章では、本商品の基本情報を説明しています。

1.1 本商品の特長	12
1.2 各部の名称と機能	13

1.1 本商品の特長

本商品は、市販の 3.5 インチ SATA（シリアル ATA）ハードディスクドライブを最大 2 台内蔵して、外付けハードディスクとして使うためのハードディスクケースです。

次のような特長があります。

- **2 台のハードディスクドライブを使った RAID 構築が可能**

2 台のハードディスクドライブを使用して、ストライピングモード（RAID 0）やミラーリングモード（RAID 1）を組むことができます。

- **オートリビルド（自動再構築）に対応**

万が一ハードディスクが故障した場合、ミラーリングモード（RAID 1）の場合のみ自動で RAID をリビルドします。

- **冷却ファンコントロール機能搭載**

内部温度に連動して自動的に冷却ファンの回転数を制御します。

- **PC 連動電源機能搭載**

接続しているパソコンの電源がオン／オフするのに合わせて、本商品の電源もオン／オフと自動で切り替わる機能です。

- **専用ドライバが不要**

ドライバをインストールすることなく、使うことができます。

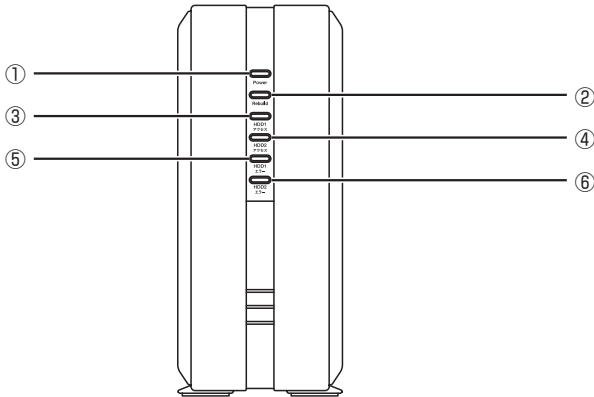
- **簡単組み立て設計**

付属の専用ドライバ 1 本で簡単に組み立てができます。

1.2 各部の名称と機能

各部の名称と働きを説明します。

■前面



① POWER LED (青)

点灯：本商品の電源が入っています。

点滅：PC 連動電源機能によって電源が制御されています（スリープモードスイッチがオンで、接続しているパソコンの電源がオフになっている場合）。

消灯：本商品の電源が入っていません。

② Rebuild LED (紫)

点灯：リビルド（再構築）中です。

③ HDD1 アクセス LED (橙)

点滅：HDD1 がデータの送受信中、またはリビルド（再構築）中です。

④ HDD2 アクセス LED (橙)

点滅：HDD2 がデータの送受信中、またはリビルド（再構築）中です。

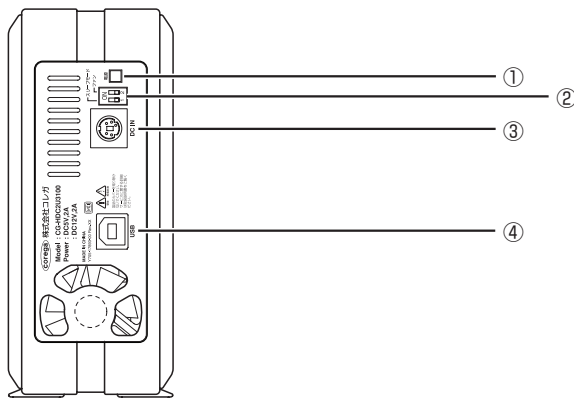
⑤ HDD1 エラー LED (赤)

点灯：HDD1 に障害が発生しています。

⑥ HDD2 エラー LED (赤)

点灯：HDD2 に障害が発生しています。

■背面



①電源ボタン

電源をオン / オフします。電源をオフにするときは、約2 秒ほど長押しします。

②スリープモードスイッチ／ファンスイッチ

スリープモードスイッチ（1）

ON ： PC 連動電源機能が作動します。

OFF ： PC 連動電源機能が作動しません。

ファンスイッチ（2）

ON ： 冷却ファンコントロール機能が作動します。

OFF ： 冷却ファンコントロール機能が作動しません。

③DC ジャック

AC アダプタの DC プラグを取り付けます。



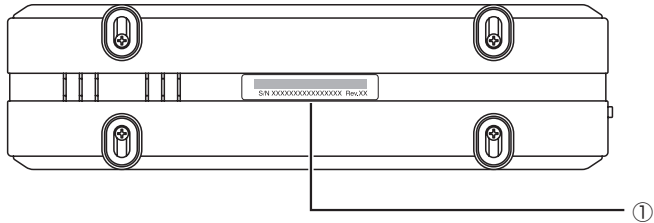
注意

- ・必ず本商品に付属の AC アダプタをお使いください。付属の AC アダプタ以外は、本商品に接続しないでください。
- ・本商品に付属の AC アダプタは、本商品以外に接続しないでください。
- ・本商品に付属の電源ケーブルは、付属の AC アダプタ以外に接続しないでください。

④ USB ポート (シリーズ B)

USB ケーブルを取り付けます。

■底面



① シリアル番号ラベル

本商品のシリアル番号とリビジョンが記載されています。シリアル番号とリビジョンはコレガサポートセンタへの問い合わせの際に必要となります。

第 2 章

設置と接続

ここでは、本商品の設置方法と使い方について説明しています。

2.1 本商品を設置する	18
2.2 ハードディスクを取り付ける	19
2.3 本商品を接続する	29
2.4 接続の確認	30
2.4.1 Windows Vista をお使いの場合	31
2.4.2 Windows XP/2000 をお使いの場合	34
2.4.3 Macintosh をお使いの場合	37
2.5 USB ケーブルの取り外し方法	39

2.1 本商品を設置する

本商品を設置する前に、P.2 「安全にお使いいただくためにお読みください」を必ずお読みください。本商品はゴム足が取り付けられています。デスクの上など水平な場所に設置してください。

設置については、次の点にご注意ください。

- ・電源ケーブルや各メディアのケーブルに無理な力が加わるような配置は避けてください。
- ・AC アダプタは、付属の本商品専用の AC アダプタを使用してください。
- ・十分な換気ができるように、本商品背面のファンをふさがないように設置してください。
- ・本商品のうえに物を置かないでください。
- ・直射日光のあたる場所、多湿な場所、ほこりの多い場所に設置しないでください。
- ・本商品を屋外で使用しないでください。
- ・コネクタの端子に触らないでください。静電気を帯びた手（体）でコネクタの端子に触れると静電気の放電により故障の原因になります。
- ・パソコンやモデムなど発熱する機器の近くには設置しないでください。
- ・モニターやスピーカなど磁気を帯びた機器の近くには設置しないでください。

2.2 ハードディスクを取り付ける

本商品で利用できるハードディスクを取り付ける手順を説明します。



- ・ 本商品を取り付けたハードディスクは、いかなる原因においても内部のデータおよびハードディスクの保証はいたしません。
- ・ 本商品はハードディスクを取り付けないと使用できません。
- ・ 本商品に取り付けるハードディスクのデータは、ボリューム構成時にすべて消去されます。お客様の責任において、取り付けるハードディスクのデータをあらかじめバックアップしておいてください。
- ・ 2台のハードディスクを使って1つのボリュームを構成する場合は、同一メーカー、同一型番のハードディスクをお使いください。

2

■利用できるハードディスク

本商品で利用できるハードディスクは次のとおりです。

- ・ SATA (3.0Gbps、1.5Gbps)
- ・ 3.5 インチ (101.6 (W) × 146.6 (D) × 25.8 (H) mm)
- ・ 1TByte × 2 (最大)

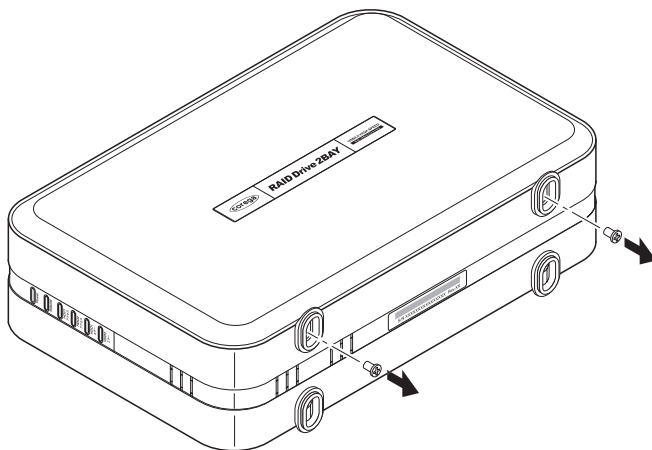
※動作確認済みのハードディスクについては、コレガホームページ (<http://corega.jp/>) をご覧ください。

実際の取り付け方法は、P.20 「■ハードディスクの取り付け」 をご覧ください。

■ハードディスクの取り付け

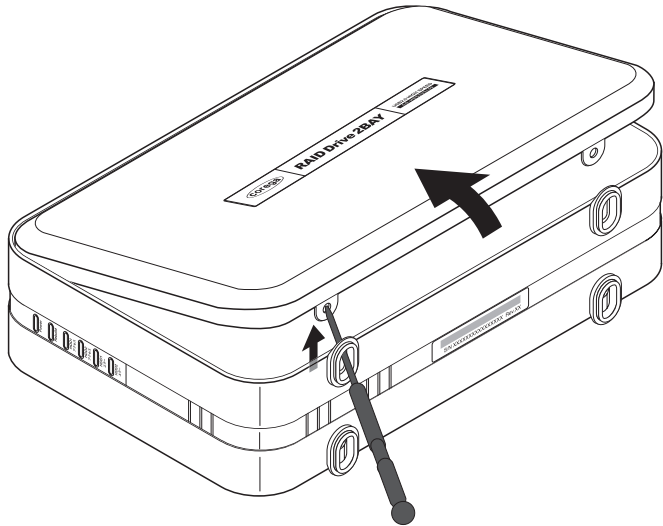
本商品にハードディスク（別売）を取り付ける作業を説明します。手順は2台のハードディスクを取り付けるときの例です。

1 本商品の底面にあるネジを取り外します。

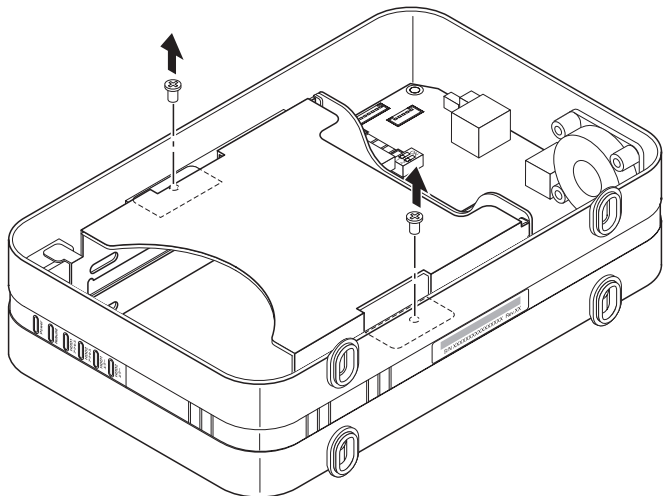


- ・ネジは、図面のようにLED がある前面を手前にした側面の固定用の2本を取り外します。
- ・取り外したネジは元に戻すのに必要です。なくさないようにしてください。
- ・ネジは付属のドライバーを使って取り外してください。

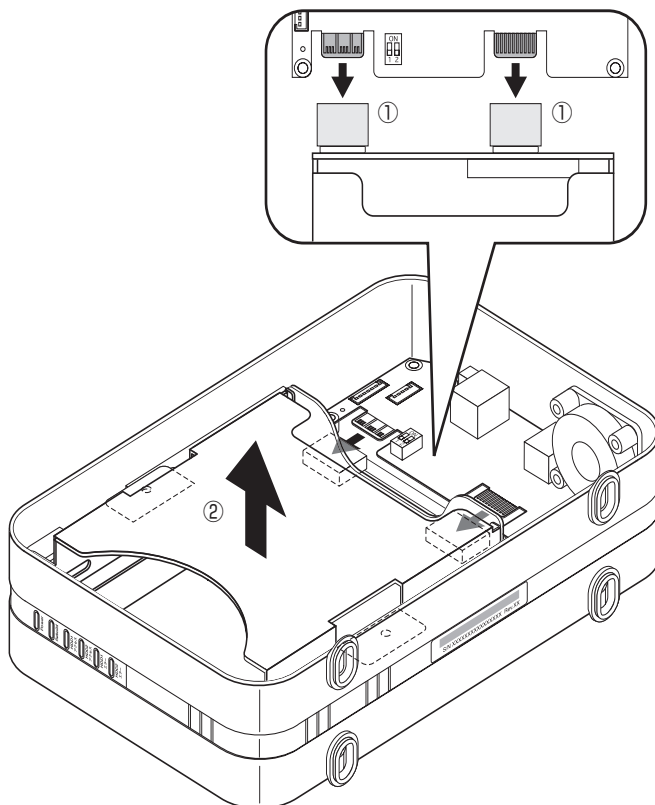
- 2** 付属のドライバでネジ穴に入れて持ち上げて、側面カバーを外します。



- 3** ハードディスク固定用トレイのネジを外します。

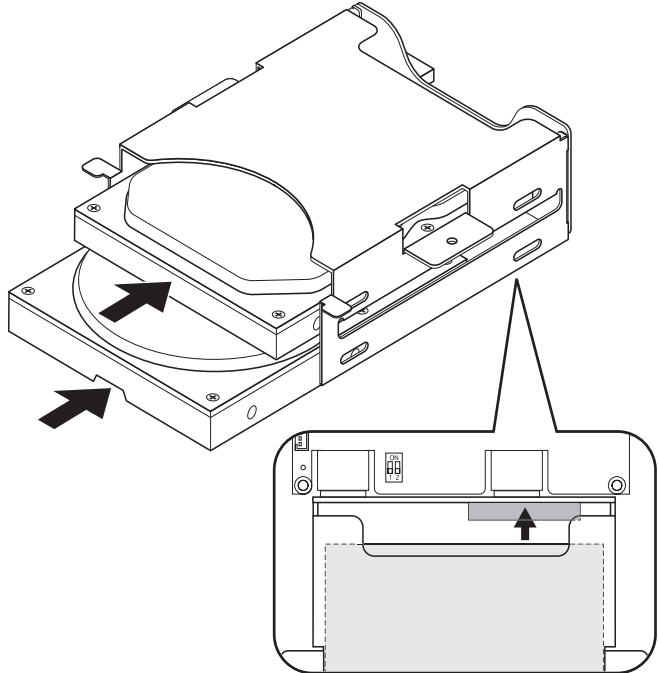


-
- 4 ハードディスク固定用トレイを①のように本体から取り外してから、②のように上へ持ち上げます。



ハードディスク固定用トレイは、①のように必ず一度本体から外してから、②のように持ち上げてください。①のときに、無理に取り外そうとすると、故障の原因になります。

5 ハードディスク固定用トレイにハードディスクを取り付けます。



注意

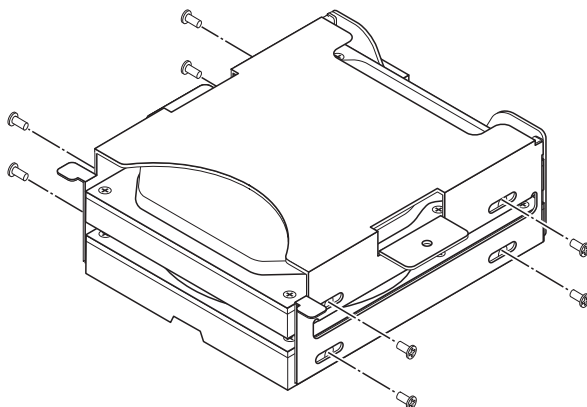
2 台のハードディスクを使って 1 つのボリュームを構成する場合は、同一メーカー、同一型番のハードディスクをお使いください。



メモ

画面は 2 台のハードディスクを取り付けるときの例です。1 台だけ取り付けて使うこともできます。

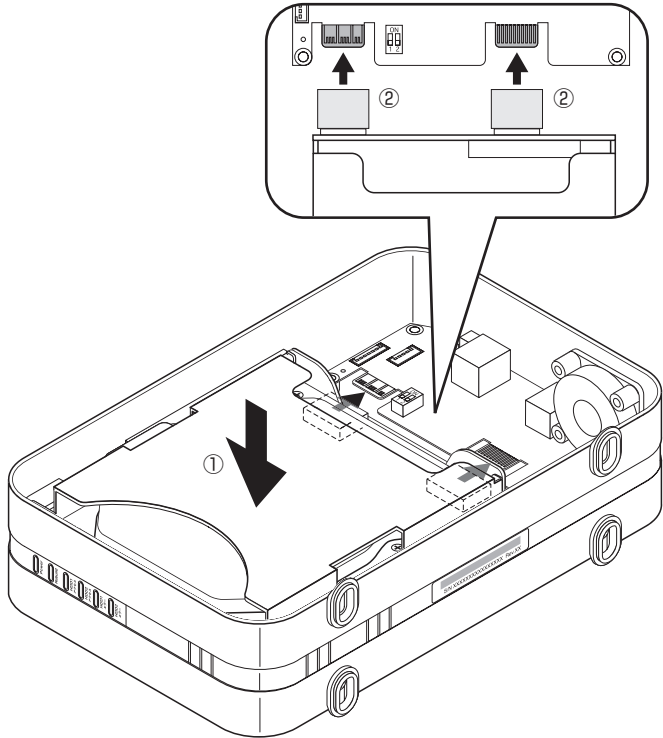
6 付属のハードディスク固定用ネジで、ハードディスク固定用トレイにハードディスクを固定します。



ハードディスク固定用ネジを締め過ぎないでください。故障の原因になります。

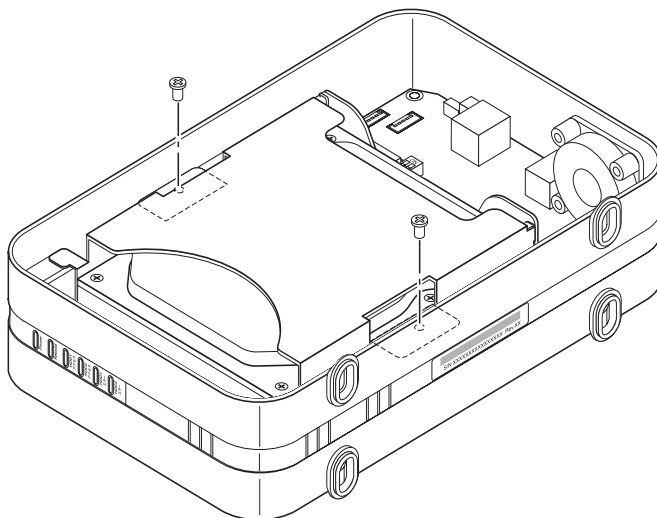
7 ハードディスク固定用トレイを元に戻します。

①のようにハードディスク固定用トレイを本体に戻し、②のように本体に取り付けます。



ハードディスク固定用トレイを無理に取り付けしないでください。故障の原因になります。

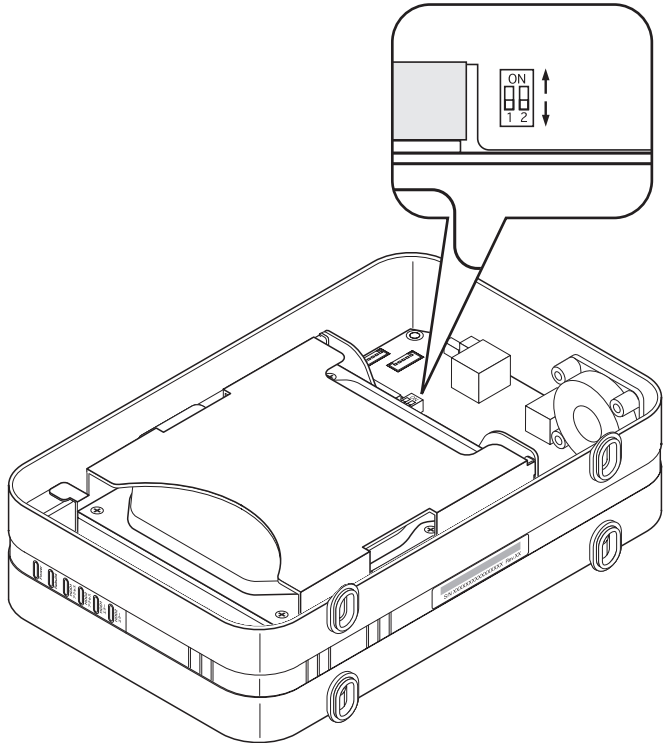
8 ハードディスク固定用トレイをネジで固定します。



ハードディスク固定用ネジを締め過ぎないでください。故障の原因になります。

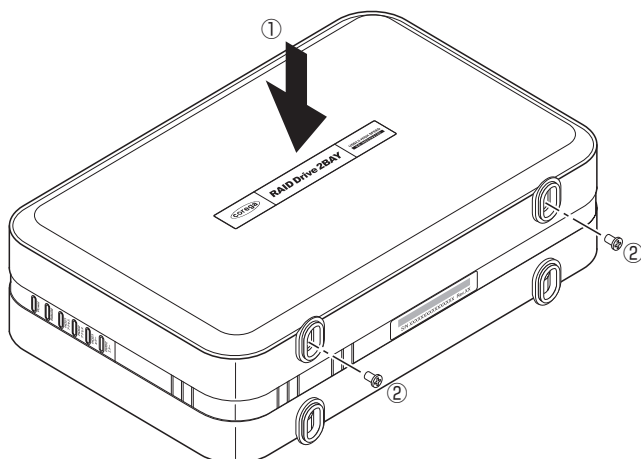
9 RAIDスイッチでRAIDなどのハードディスクの運用方法を切り替えます。

工場出荷時は、シングルモードに設定されています。



RAIDスイッチの詳細い説明は、P.44「3.1 RAIDスイッチを設定する」をご覧ください。

10 ①側面カバーを取り付け、②手順 1 で取り外したネジで側面カバーを固定します。



ハードディスク固定用ネジを締め過ぎないでください。故障の原因になります。

以上で、ハードディスクの取り付けは完了です。

引き続き **P.29** 「2.3 本商品を接続する」をご覧ください、本商品をお使いのパソコンに接続してください。

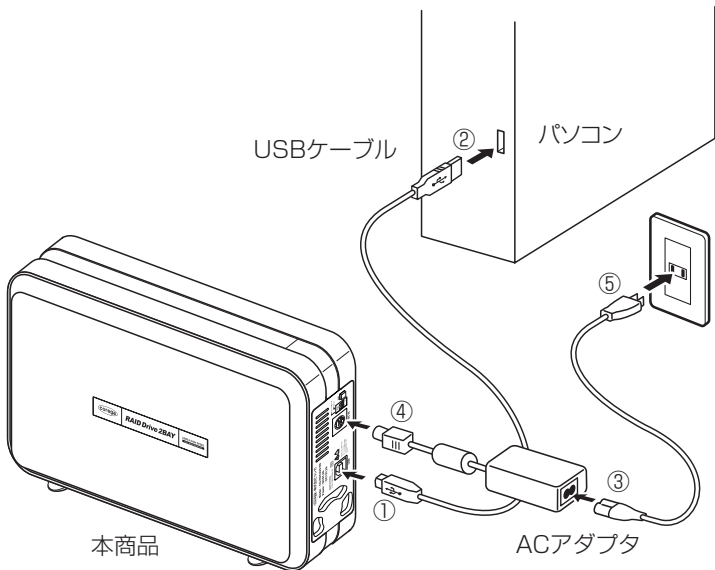
2.3 本商品を接続する

本商品とパソコンを USB ケーブルで接続する方法を説明します。



- ・必ず本商品に付属の AC アダプタをお使いください。付属の AC アダプタ以外は、本商品に接続しないでください。
- ・本商品に付属の AC アダプタは、本商品以外に接続しないでください。
- ・本商品に付属の電源ケーブルは、付属の AC アダプタ以外に接続しないでください。

2



- 1 ① USB ケーブル (シリーズ B) のコネクタを本商品に、
② USB ケーブル (シリーズ A) のコネクタをパソコン
に取り付けます。
- 2 ③電源ケーブルをACアダプタに接続し、④DC プラグを
本商品に接続し、⑤電源プラグを電源コンセントに差し
込みます。

引き続き P.30 「2.4 接続の確認」で、本商品が正常にお使いのパソコンに認識されているかを確認します。

2.4 接続の確認

本商品がお使いのパソコンで正しく認識されていることを確認します。

接続の確認は、本商品の設置、接続が完了していることを前提にしています。



- ・ 本商品の電源オンの状態で USB ケーブルを取り外すときは、P.39 「2.5 USB ケーブルの取り外し方法」を参照して正しく取り外してください。
- ・ 本商品の電源がオフのときは、前面のHDD アクセス LED が点滅していないことを確認してください。LED が点滅しているときに電源をオフにすると、ハードディスクのデータが破損するおそれがあります。

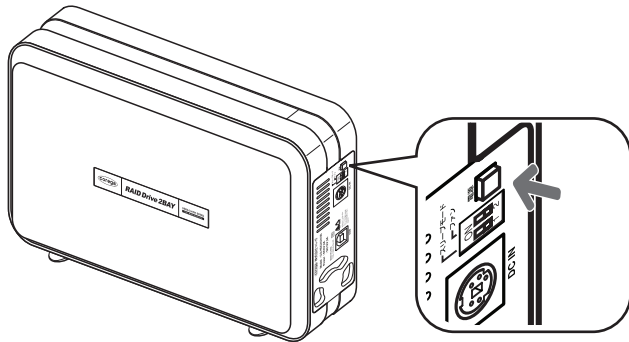
本商品の接続の確認は、お使いの OS によって手順が異なります。

- ☞ **P.31** 「2.4.1 Windows Vista をお使いの場合」
- ☞ **P.34** 「2.4.2 Windows XP/2000 をお使いの場合」
- ☞ **P.37** 「2.4.3 Macintosh をお使いの場合」

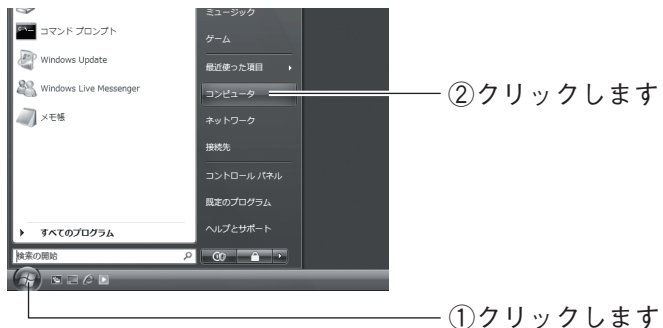
2.4.1 Windows Vista をお使いの場合

お使いのパソコンが Windows Vista の場合は、次の手順で本商品が正常に動作していることを確認します。

- 1 本商品の電源スイッチを押して電源を入れます。



- 2 パソコンを起動します。
- 3 [スタート] – 「コンピュータ」の順にクリックします。



4 「システムのプロパティ」をクリックします。



—— クリックします

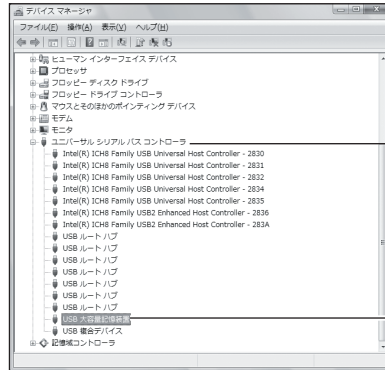
5 「デバイスマネージャ」をクリックします。



—— クリックします

6 「ユーザアカウント制御」画面が表示されるので「続行」をクリックします。

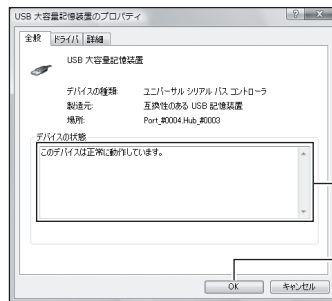
7 「ユニバーサルシリアルバスコントローラ」をダブルクリックし、「USB 大容量記憶装置」をダブルクリックします。



①ダブルクリック
します

②ダブルクリック
します

8 正常に動作していることを確認して [OK] をクリックします。



①確認します

②クリックします

以上で、Windows Vista での確認は完了です。

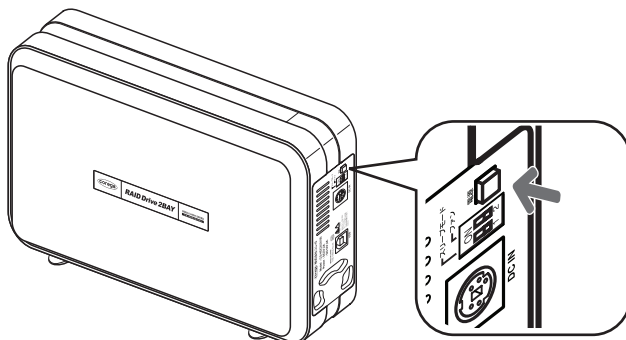


必要に応じて、OS 準拠のディスクユーティリティでハードディスクをフォーマットしてください。ハードディスクのフォーマットは各 OS のヘルプをご覧ください。

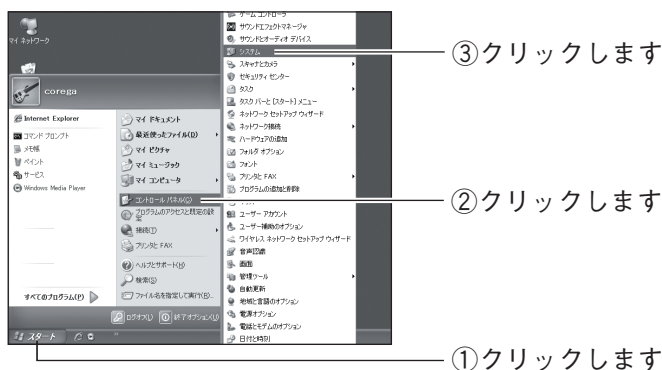
2.4.2 Windows XP/2000 をお使いの場合

お使いのパソコンがWindows XP/2000 の場合は、次の手順で本商品が正常に動作していることを確認します。ここでは、Windows XP の画面を例に説明します。

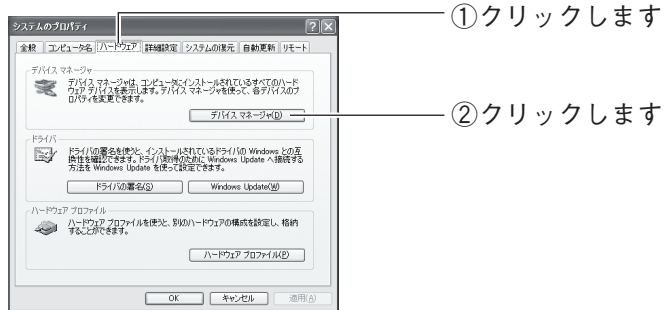
- 1 本商品の電源スイッチを押して電源を入れます。



- 2 パソコンを起動します。
- 3 [スタート] – 「コントロールパネル」 – 「システム」の順にクリックします。

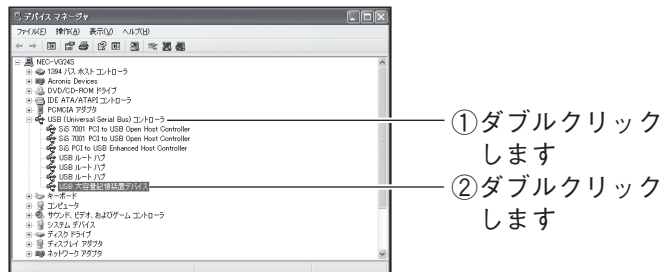


4 ハードウェアのタブをクリックして、[デバイスマネージャ] をクリックします。

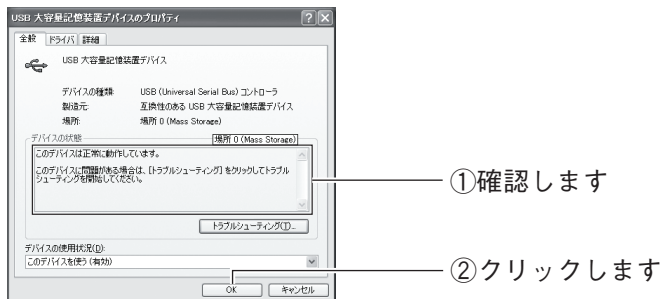


2

5 「USB (Universal Serial Bus) コントローラ」をダブルクリックし、「USB 大容量記憶装置デバイス」をダブルクリックします。



6 正常に動作していることを確認して [OK] をクリックします。



以上で、Windows XP/2000 での確認は完了です。

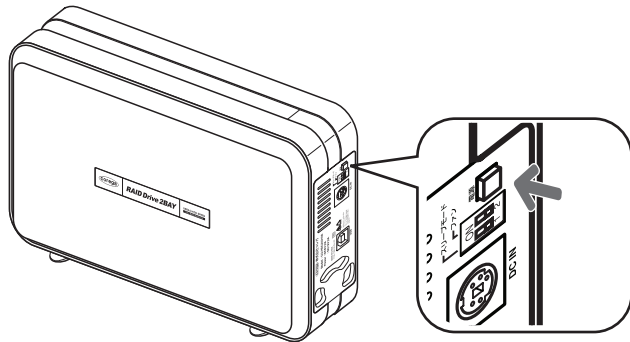


必要に応じて、OS 準拠のディスクユーティリティでハードディスクをフォーマットしてください。ハードディスクのフォーマットは各 OS のヘルプをご覧ください。

2.4.3 Macintosh をお使いの場合

お使いのパソコンが Macintosh の場合は、次の手順で本商品が正常に動作していることを確認します。

- 1 本商品の電源スイッチを押して電源を入れます。



- 2 お使いのパソコンを起動します。
- 3 本商品のディスクアイコンが表示されていることを確認します。



以上で、Macintosh での確認は完了です。



本商品を接続して、ディスクアイコンが表示するのは、本商品に取り付けたハードディスクがフォーマットされていた場合の例です。必要に応じ、OS 準拠のディスクユーティリティでハードディスクをフォーマットしてください。ハードディスクのフォーマットは各 OS のヘルプをご覧ください。

■ハードディスクのフォーマット容量について

ハードディスクをフォーマットしたあと、OS に表示される容量は計算方法が異なるために表示される数値に違いがあります。

- ・ハードディスクメーカーの容量は $1\text{GB} = 1,000\text{MB}$ 、 $1\text{MB} = 1,000,000$ バイトで計算される場合があります。
- ・OS 上で表示される容量は $1\text{GB} = 1,024\text{MB}$ 、 $1\text{MB} = 1,048,576$ バイトで計算される場合があります。

2.5 USB ケーブルの取り外し方法

お使いのパソコンから本商品に接続している USB ケーブルを取り外すときや、パソコンの電源がオンの状態で本商品の電源をオフにするには、必ず次の手順に従ってください。USB ケーブルの取り外し方法はお使いの環境ごとに異なります。

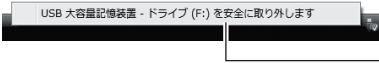


本商品の電源がオフのときは、前面の HDD アクセス LED が点滅していないことを確認してください。LED が点滅しているときに電源をオフにすると、ハードディスクのデータが破損するおそれがあります。

2

■ Windows Vista の場合

- 1 画面右下のタスクバーにあるアイコンをクリックして、「USB 大容量記憶装置 – ドライブ (X:) を安全に取り外します」をクリックします。

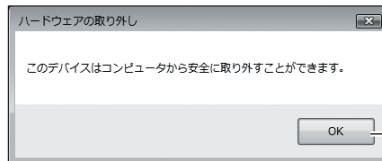


—— クリックします



ドライブ (F:) は例です。(F:) はお使いの環境によって異なります。

- 2 [OK] をクリックします。



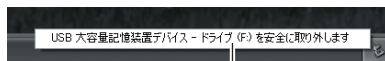
—— クリックします

- 3 本商品の電源スイッチを2秒ほど長押しして電源をオフにします。
- 4 本商品をパソコンから取り外します。

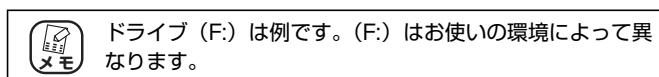
以上で、Windows Vista での USB ケーブルの取り外しは完了です。

■ Windows XP の場合

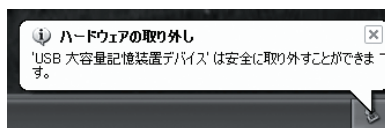
- 1 画面右下のタスクバーにあるアイコンをクリックして、「USB 大容量記憶装置 – ドライブ (X:) を安全に取り外します」をクリックします。」



クリックします



- 2 次の画面が表示されたら、本商品の電源スイッチを2秒ほど長押しして電源をオフにします。



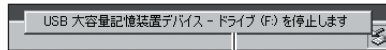
クリックします

- 3 本商品をパソコンから取り外します。

以上で、Windows XP の USB ケーブルの取り外しは完了です。

■ Windows 2000 の場合

- 1 画面右下のタスクバーにあるアイコンをクリックして、「USB 大容量記憶装置デバイスドライバ (X:) を停止します」をクリックします。



クリックします



ドライブ (F:) は例です。(F:) はお使いの環境によって異なります。

- 2 [OK] をクリックします。



クリックします

- 3 次の画面が表示されたら、本商品の電源スイッチを2秒ほど長押しして電源をオフにします。
- 4 本商品をパソコンから取り外します。

以上で、Windows 2000 のUSB ケーブルの取り外しは完了です。

■ Macintosh の場合

- 1 デスクトップにある本商品のディスクアイコンをゴミ箱に入れます。



- 2 本商品の電源スイッチを2秒ほど長押しして電源をオフにします。
- 3 本商品をパソコンから取り外します。

以上で、Macintosh の USB ケーブルの取り外しは完了です。

第 3 章

本商品の設定方法

本商品で設定できる RAID について説明します。

3.1 RAID スイッチを設定する	44
3.2 RAID とは	46

3.1 RAID スイッチを設定する

本商品は 2 台のハードディスクをストライピングモード (RAID 0) またはミラーリングモード (RAID 1) やスパニングモード (JBOD) で使うことができます。各モードの設定は、本体内部の RAID スイッチの組み合わせで設定します。



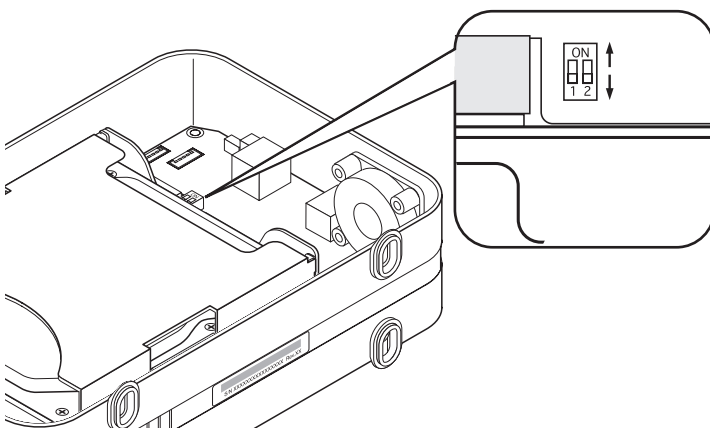
注意

- ・ 本商品を取り付けたハードディスクは、いかなる原因においても内部のデータおよびハードディスクの保証はいたしません。
- ・ 本商品に取り付けるハードディスクのデータは、ボリューム構成時にすべて消去されます。お客様の責任において、取り付けるハードディスクのデータをあらかじめバックアップしておいてください。
- ・ RAID スイッチの工場出荷時の設定はシングルモードに設定されています。
- ・ 2 台のハードディスクを使って 1 つのボリュームを構成する場合は、同一メーカー、同一型番のハードディスクをお使いください。

本商品のケースを開けて、RAID スイッチを設定します。本商品のケースを開く方法は、P.19 「2.2 ハードディスクを取り付ける」をご覧ください。

RAID スイッチは以下の図の位置にあります。

不要になったボールペンなど先のとがったものを使用してください。



RAID スイッチの組み合わせは P.45 「■ RAID スイッチの設定」をご覧ください。

■ RAID スイッチの設定

本商品の RAID スイッチの組み合わせは次の表のとおりです。

シングルモード	スパニングモード (JBOD)	ストライピングモード (RAID 0)	ミラーリングモード (RAID 1)
↑  ↑	↓  ↑	↑  ↓	↓  ↓



RAID スイッチは不要になったボールペンなど先のとがったもので操作してください。

各モードの詳しい説明は、P.46 「3.2 RAID とは」をご覧ください。

3.2 RAID とは

RAID は「Redundant Arrays of Inexpensive Disks」の略称で「レイド」と呼びます。複数台のハードディスクを並列に接続して、1 台のハードディスク装置のように管理することで、アクセスを高速化することや、障害への耐久性を向上させることができます。



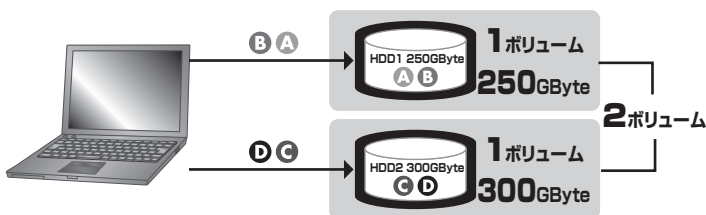
注意

- ・ 別々のモードで構成されたハードディスクを本商品に取り付けて使うことはできません。
- ・ 一度設定したモードで構成したハードディスクが取り付けられた状態で、別のモードに変更する場合は、取り付けるハードディスクを再フォーマットする必要があります。
- ・ 2 台のハードディスクを使って 1 つのボリュームを構成する場合は、同一メーカー、同一型番のハードディスクをお使いください。

以降は、本商品で設定できる各モードを説明します。

■シングルモード

本商品の工場出荷時に設定されているモードです。お使いのパソコンに取り付けられたハードディスクをそのまま読みこんで外付けハードディスクとして使うことができます。本商品にハードディスクを 1 台のみ取り付ける場合は、このモードのみ使うことができます。2 台のハードディスクを取り付けることで、お使いのパソコンが独立したハードディスクを別々に認識します。

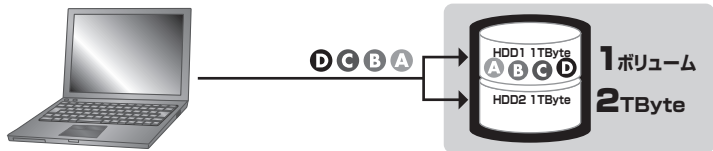


図では、容量の違う 250GByte のハードディスクと 300GByte のハードディスクを本商品に取り付けたときの例を示しています。

お使いのパソコンからデータを送った場合は、通常のハードディスク同様に、送られたハードディスクのみにデータが転送されます。

■スパニングモード (JBOD)

スパニングモードは、JBOD (Just a Bunch Of Disks) と呼ばれ、2 台のハードディスクを 1 台のハードディスクとして使うモードです。



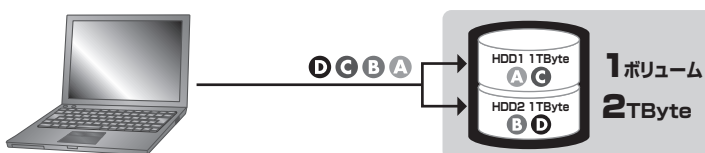
図では、スパニングモードに設定したときの 1 ボリューム作成例を示しています。

2 台のハードディスクを 1 台としてみなすので、ハードディスクの容量は 2 台分 (2TByte) になります。

A から D のデータを書き込む場合、通常のハードディスクに転送する場合と同じように書き込まれるため、速度は変わりません。また、データを保護する機能が備わっていないため、1 台のハードディスクに障害が発生すると、A から D のすべてのデータが復旧できなくなります。

■ストライピングモード (RAID 0)

ストライピングモード (RAID 0) は、複数台のハードディスクにデータを分散して書き込むモードです。複数台のハードディスクに分散してデータを読み書きするのでアクセスが速くなります。ただし、1 台のハードディスクに障害が発生した場合、データを再生成する機能がないので、データの読み書きができなくなります。



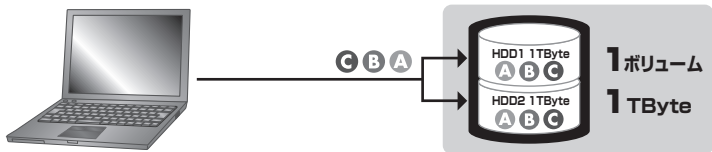
図では、ストライピングモードに設定したときの 1 ボリューム作成例を示しています。

ストライピングモードでは、ストライピングするハードディスクを掛けた容量になるため、1TByte × 2 の容量 (2TByte) で構成されます。

A から D のデータを書き込む場合、A の部分はハードディスク 1 (HDD1) に、B の部分はハードディスク 2 (HDD2) にというように分散されて書き込まれます。そのため、万が一ハードディスク 1 に障害が発生した場合には、データの A と C の部分が失われてしまうため、A から D のすべてのデータは復旧できなくなります。

■ミラーリングモード (RAID1)

ミラーリングモード (RAID 1) は、2 台のハードディスクに同じデータを書き込むモードです。1 台のハードディスクに障害が発生しても、もう 1 台のハードディスクに同じデータがあるため、ハードディスクを入れ替えることで、データを再生成することができ、安全性が高いといえます。同じデータを書き込むため、アクセス速度は 1 台のときとそれほど変わりません。



3

図では、ミラーリングモードに設定したときの 1 ボリューム作成例を示しています。

ミラーリングモードでは、2 台のハードディスクに同じデータを書き込みますので、使用できるハードディスクは 1 台分 (1TByte) になります。

A から C のデータを書き込む場合、A から C のすべてのデータがハードディスク 1 (HDD1) と 2 (HDD2) に書き込まれます。そのため、万が一ハードディスク 1 に障害が発生した場合にも、A から C のデータはハードディスク 2 で読み書きできます。また、ハードディスク 1 を取り替えることで、ミラーリング (RAID 1) を復旧できます。ただし、ハードディスク 1 と 2 に同時に障害が発生した場合は、データの復旧ができなくなる可能性があります。



注意

本商品では、1 台のハードディスクに障害が発生してハードディスクを取り替えた場合、本商品の電源をオンにすることで、自動的にリビルド (再構成) されます。リビルド中は、本商品の電源をオフにしないでください、故障の原因になります。詳しいリビルドの動きについては、P.50 「○オートリビルド (自動再構築) について」をご覧ください。

○オートリビルド（自動再構築）について

本商品をミラーリングモード（RAID1）にして取り付けした2 台のハードディスクのうち 1 台が故障した場合、故障したハードディスクを新しいハードディスクに取り替えることで自動的にリビルドされます。

リビルドしている間は、本商品前面の Rebuild LED が点灯、HDD1 アクセス LED、HDD2 アクセス LED が点滅します。2 台のハードディスクのうち1台が故障して取り替えた場合、取り替えていないハードディスク側のHDD エラー LED も点灯します。

リビルドがはじまったら、本商品前面の POWER LED が点灯しているだけの状態に戻るまで必ずお待ちください。リビルド完了時間は、取り付けしたハードディスクの容量によって異なります。



リビルド中は本商品の電源をオフにすることや、AC アダプタを抜かないでください。故障の原因になります。

第 4 章

Q&A

この章では、困ったときの確認方法や解決方法を説明します。

4.1	トラブル対処の方法	52
4.2	Q&A	53
4.2.1	電源が入らない	53
4.2.2	本商品を認識しない	53
4.2.3	ハードディスクが認識しない	54

4.1 トラブル対処の方法

本商品を使っていて困ったときは、次のステップに従って対処方法を確認してください。

STEP1	取扱説明書（本書）で設定を再確認する 管理者などに問い合わせる
--------------	--

それでも解決できないときは…



STEP2	本章の「Q&A」を確認する 🔍 P.53 「4.2.1 電源が入らない」 🔍 P.53 「4.2.2 本商品を確認しない」 🔍 P.54 「4.2.3 ハードディスクが認識しない」
--------------	--

それでも解決できないときは…



STEP3	コレガホームページ（http://corega.jp/）の情報を活用する 本商品の最新情報、よくあるお問い合わせ、最新ファームなどを提供しています。
--------------	--

それでも解決できないときは…



STEP4	コレガサポートセンタに問い合わせる 連絡先は取扱説明書（本書）の裏表紙をご覧ください。
--------------	---

4.2 Q&A

よくあるトラブルと、その対処方法を説明します。

4.2.1 電源が入らない

電源が入らないときは、次の内容を確認してください。

現象	・ 電源が入らない ・ POWER LED が点灯しない
対処方法	電源ケーブルに断線がないか、電源ケーブルが正しく接続されているか、正しい電源・電圧のコンセントを使用しているかなどを確認してください。 それでも電源が入らない場合は、本商品に問題がある可能性があります。次のページをご覧くださいになり修理を依頼してください。  P.60 「保証と修理について」

4.2.2 本商品を認識しない

お使いのパソコンが本商品を認識しない場合は、こちらをご覧ください。

現象	パソコンが本商品を認識しない
対処方法	USB ケーブルに断線がないか、USB ケーブルが正しく接続されているか、お使いのパソコンで USB ポートが無効になっていないかを確認してください。本商品が正しく認識されているかの確認は、P.30 「2.4 接続の確認」をご覧ください。 それでも解決しない場合は、本商品に問題がある可能性があります。次のページをご覧くださいになり修理を依頼してください。  P.60 「保証と修理について」

4.2.3 ハードディスクが認識しない

ハードディスクが認識しない場合、こちらをご覧ください。

現象	本商品に取り付けたハードディスクが認識しない
対処方法	本商品のハードディスク固定用トレイにハードディスクがきちんと取り付けられているかを確認してください。ハードディスクがきちんと取り付けられていても認識しない場合は、必要に応じてハードディスクをフォーマットしてください。それでも認識しない場合は、本商品またはハードディスクが故障している可能性があります。

付録

本商品の仕様、保証や修理のご案内、コレガサポートセンタへの連絡先などを記載しています。

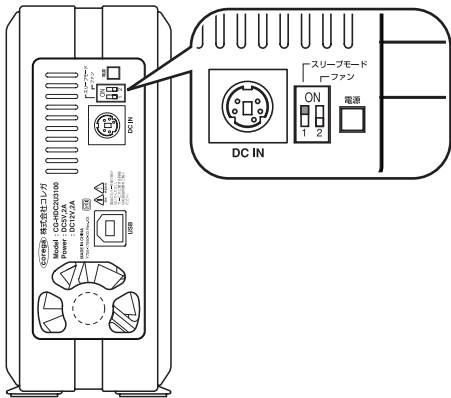
PC 連動電源機能について	56
冷却ファンコントロール機能について	57
仕様一覧	58
保証と修理について	60
おことわり	62

PC 連動電源機能について

本商品に接続したパソコンの電源に連動して、本商品の電源をオン／オフにする機能です。

パソコン	本商品
起動中	電源オン (POWER LED 点灯)
	
・ 休止状態 ・ スリープ ・ シャットダウン	・ スリープモード (POWER LED 点滅)

- 1 本商品の背面にあるスリープモードスイッチをオンにします。



以上で、PC 連動電源機能の設定は完了です。

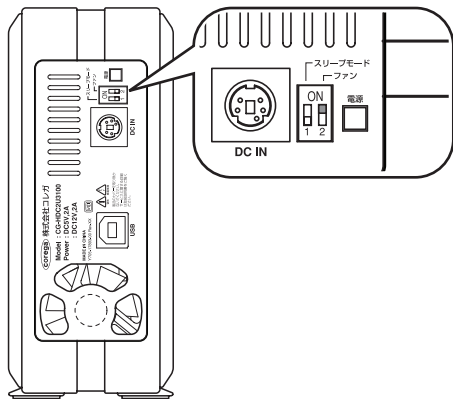


- ・ スリープモードスイッチを切り替えるときは、本商品の電源をオフにしてから切り替えてください。
- ・ PC 連動電源機能は、パソコンの環境によっては連動しない場合があります。

冷却ファンコントロール機能について

本商品背面の冷却ファンコントロール機能をオンにすることで、本商品の内部温度によって、冷却ファンの速さが変わります。

1 本商品の背面にあるファンスイッチをオンにします。



以上で、冷却ファンコントロール機能の設定は完了です。

冷却ファンコントロール機能の動作は、次の表をご確認ください。

ファンスピードレベル	内部温度	ファンの回転数
レベル 0	43℃以下	0
レベル 1	43℃以上～50℃以下	2400～3400rpm
レベル 2	50℃以上	3400～5000rpm



注意

ファンスイッチを切り替えるときは、本商品の電源をオフしてから切り替えてください。

仕様一覧

対応 PC		USB 端子を標準搭載した DOS/V パソコン、Macintosh
対応 OS		Windows Vista/XP/2000、Mac OS X 10.3 以降
サポート規格	SATA	SATA (3.0Gbps、1.5Gbps)
	USB	USB 2.0/1.1 規格準拠
取得承認		VCCI クラス B
外部インタフェース	USB	接続ポート：USB シリーズ B (4 ピン) メス
		転送速度：480Mbps (理論値)
内部インタフェース	SATA	接続ポート：SATA (7ピン) メス× 2
		転送速度：3.0Gbps (理論値)
		電源：SATA 電源コネクタ (15 ピン) メス× 2
対応 HDD	HDD 形状	3.5 インチ (101.6 (W) × 146.6 (D) × 25.8 (H) mm)
	HDD 容量	1TByte (最大)
	接続可能台数	1、2 台
LED		Power (青) × 1、Rebuild (紫) × 1、HDD アクセス (橙) × 2、HDD エラー (赤) × 2
冷却ファン		あり
電源仕様 (AC アダプタ)	定格入力電圧	AC100V (50/60Hz)
	定格入力電流	1.2A
	定格出力	34W
環境条件	動作時	温度 0 ～ 40℃／湿度 5 ～ 90% (結露なきこと)
	保管時	温度 - 20 ～ 60℃／湿度 5 ～ 95% (結露なきこと)
外形寸法		63 (W) × 226 (D) × 145 (H) mm 本体のみ (突起部を含まず)
質量		610g 本体のみ

■ RAID スイッチ仕様

状態	モード
1/2	
ON/ON	シングルモード
ON/OFF	スパニングモード (JBOD)
OFF/ON	ストライピングモード (RAID 0)
OFF/OFF	ミラーリングモード (RAID 1)

■スリープモードスイッチ仕様

状態	モード
ON	PC 連動電源機能は有効です
OFF	PC 連動電源機能は無効です

■ファンスイッチ仕様

状態	モード
ON	冷却ファンコントロール機能は有効です
OFF	冷却ファンコントロール機能は無効です

保証と修理について

■保証について

製品保証書に記載されている「製品保証規定」を必ずお読みになり、本商品を正しくご使用ください。無条件で本商品を保証するということではありません。正しい使用方法で使用した場合のみ、保証の対象となります。

本商品の保証期間については、製品保証書に記載されている保証期間をご覧ください。

■修理について

故障と思われる現象が生じた場合は、まず取扱説明書をご覧ください、正しく設定・接続できていることを確認してください。現象が改善されない場合は、コレガホームページに掲載されている「修理依頼用紙」をプリントアウトのうえ、必要事項を記入したものと製品保証書および購入日の証明できるもののコピー（レシートなど可）を添付し、商品（付属品一式とともに）をご購入された販売店へお持ちください。

修理をご依頼される場合は、次の点にご注意ください。

- ・弊社へのお持ち込みによる修理は受け付けておりません。
- ・修理期間中の代替機などは弊社では用意しておりませんので、あらかじめご了承ください。
- ・製品保証書に販売店の押印がない場合は、保証期間内であっても有償修理になる場合があります。
- ・商品購入日の証明ができない場合、無償修理の対象となりませんのでご注意ください。
- ・修理依頼時の運送中の故障や事故に関しては、弊社はいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- ・修理完了後、本商品の設定は初期化状態（工場出荷時の状態）に戻りますので、あらかじめご了承ください。

■修理を依頼されるときのご注意事項

- ・必ずハードディスクを取り外してください

弊社に修理をご依頼される場合には、ハードディスクやほかの機器との接続ケーブル、および弊社保証の対象とならない部品などを、事前に本商品からお取り外してください。これらが本商品に付加された状態で弊社に引き渡された場合には、弊社ではこれらの管理について責任を負いかね、いったんお客様に返却させていただきます。

※ なお、輸送中に生じたハードディスク、およびハードディスクに記憶されたデータの破損、汚損、紛失、そのほか弊社保証の対象とならない部品に関連して生じうる一切の損害については、その責任を負いかねます。

- ・保証期間内外・対象有無にかかわらず、故障の場合は新品良品との交換となります
そのため、設定された内容はすべて初期化されます。
- ・お使いのハードディスクのデータは保証できません

本体を修理交換後、修理前にお使いになっていたハードディスクを装着しても、データの保証はいたしかねますのでご了承ください。

■有償修理について

有償修理の場合は、ご購入の販売店へお持ちください。下記 URL に有償修理価格が記載されておりますのでご覧ください。

<http://corega.jp/repair/>

おことわり

- ・ 本書は、株式会社コレガが作成したもので、すべての権利を弊社が保有しています。弊社に無断で本書の一部または全部をコピーすることを禁じます。
- ・ 予告なく本書の一部または全体を修正、変更することがありますがご了承ください。
- ・ 改良のため商品の仕様を予告なく変更することがありますがご了承ください。

本商品は国内仕様となっており、外国の規格などには準拠しておりません。日本国外で使用された場合、弊社ではいかなる責任も負いかねます。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

Copyright©2008 株式会社コレガ

corega は、株式会社コレガの登録商標です。

Microsoft、Windows、Windows Vista は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Macintosh、Mac OS は、Apple Inc. の登録商標です。

その他、この文書に掲載しているソフトウェアおよび周辺機器の名称は各メーカーの登録商標または商標です。

2008年 9月 初版

MEMO

MEMO

MEMO

MEMO

【コレガ FAX サポートセンタ 045-476-6294】

お問い合わせ用紙

※ CG-HDC2U3100 専用お問い合わせ用紙

お電話にてお問い合わせをいただいた場合、製品の仕様上、環境や現象などを正確に把握して、問題を解決するまでにお時間がかかる場合がございます。お手数ですが、なるべく FAX・メールサポートをご利用いただきますようお願いいたします。

お問い合わせ日： 年 月 日

コレガサポートセンタにご質問される場合、お問い合わせ商品に関する以下の情報をご記入ください。

会社名		部署名	
フリガナ		ご購入先	
ご担当者名			
ご連絡先	TEL : 携帯電話 : FAX :		

商品を複数台お使いの場合はその旨ご記入ください。

商品名(型番)		ファームウェアバージョン	
シリアル番号	(S/N) □□□□□□□□□□□□□□	Rev.	□□

以下にご利用のネットワーク構成やご利用環境をご記入ください。

--

以下にご質問内容をご記入ください（□にチェックを付けてください）。

☐ トラブル	☐ 常に発生する	☐ 特定の動作をすると発生する	☐ 不定期に発生する
☐ 設定方法	☐ 初期など	☐ 購入後	

☐別紙あり（ログデータ、設定画面、書ききれない場合などある場合は、添付してください）

— このページをコピーしてお使いください —

メールサポートも承っておりますのでご検討ください <http://corega.jp/faq/>

■コレガホームページのご案内

コレガホームページでは、各種商品の最新情報、最新ファームウェア、よくあるお問い合わせなどを提供しています。本商品を最適にご利用いただくために、定期的にご覧いただくことをお勧めします。

<http://corega.jp/>

■商品に関するご質問は・・・

商品のご質問はコレガサポートセンタまでお問い合わせください。お問い合わせの際にはコレガホームページ掲載の「お問い合わせ用紙」または下記の必要事項をご記入いただいた書面を用意して、メール、FAX、電話でのいずれかの方法でお問い合わせください。

●お問い合わせ先

【コレガサポートセンタ】

メールサポート：下記 URL からユーザ登録をしたあと、お問い合わせください。

<http://corega.jp/faq/>

FAX 045-476-6294

電話 045-476-6268

〈受付時間〉

10：00～12：00、13：00～18：00 月～金（祝・祭日を除く）

※サポート内容、電話番号など、予告なく変更する場合があります。最新情報はコレガホームページ（<http://corega.jp/>）をご覧ください。

※本商品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様のため、日本語版 OS のみ動作を保証しています。そのため、日本語版 OS 以外のお問い合わせはお受けできませんのでご了承ください。

※サポートセンタへのお問い合わせは日本語に限らせていただきます。

This product is supported only in Japanese.

※電話が混み合っている場合は、メールサポートおよび FAX サポートをご利用ください。

●必要事項

あらかじめ下記の必要事項を控えておいてください。

- ・ 商品名
- ・ シリアル番号（S/N）、リビジョンコード（Rev.）
- ・ お名前、フリガナ
- ・ 連絡先電話番号、FAX 番号
- ・ 購入店
- ・ 購入日付
- ・ お使いのパソコンの機種
- ・ OS
- ・ 接続構成
- ・ お問い合わせ内容（できる限り詳しくお知らせください）